



事務職



徳島新聞富田専売所 徳島市富田橋4丁目6-4 電話0120-44-6106

👉 お仕事に役立つ3つのポイント



①地域経済の動向をとり上げた記事(ローカル経済面)
 県内の景気動向や、県内の同業他社、他業種の企業情報、経済情報の記事を日々チェックすることで、情報収集力を高めて、お客さまとのコミュニケーション力が深まり、より広い視野をもって信頼性の高い業務ができる。

②同業者、業界をとり上げた記事(経済面)
 同業者の新商品発表の記事や、新規事業への取り組み、また、同じ業界やこれを取り巻く環境で日々起こっている様々な出来事をチェックして、これまでの業務の見直しや新たな可能性を提案することで、他社に負けない業務展開が見いだせる。

③制度改革の記事(政治)
 働き方改革や子育て支援制度、また税制改革や各種制度改革など日々変わりゆく社会情勢をチェックすることで、「時代遅れの仕事」をしないよう、効率良く、また、スピーディーな「生きた事務職」を実現できる。

🗨️ 具体的な徳島新聞活用術 (卸売業)

■円相場、株価の記事

円高、円安傾向なのか、株価はどういった状況で推移しているかをチェックして、全体的な経済状況の把握、景気状況の把握をして日々の業務への参考資料とする。



■経済指数発表の記事

日銀やシンクタンクなどが発表する企業物価指数や政府などが発表する季節受注統計、企業景気予測調査など各種数値を報じた記事の活用で、現在の国内や

地域経済の状況、業界の状況などを把握して日々の業務に取り入れる。



■同業他社の新商品、サービス発表の記事、または合併や倒産を報じた記事

同業他社や業界での情報をいち早く収集して、自社で活用できること、見直すこと、また、自社への影響、業界への影響などを判断し業務に活用していく。

■残業規制改正の記事

過労死対策や働き方改革が進む

中で、労働基準法の改正などをチェックすることで無理・ムラ・無駄のない業務の棚卸や違法残業の撲滅など、社内での業務効率化や法令順守の体制を見直すきっかけとする。



■地元をPRするマスコットが動画作成という話題

地元をPRするマスコットが、世界にその魅力を発信するためにオリジナル動画を作成した、という内容。PR方法として、社内でも動画を作成するきっかけにしたり、キャラクターとコラボできないかなど、話題作りとともに、新たな提案材料にできる。

👍 こんな活用術いかがですか？

事務職といっても、ただ事務作業を消化していきという単純な職種ではありません。自社の事はもちろんですが、お客様とのコミュニケーションの事、経済の事、業界の事、また、これらを取り巻く環境での出来事などに対して、広い視野をもって情報収集をしていくかないと、「超」情報化社会の中で生き残れません。情報の豊富さは仕事や「人柄」にも深みを持たせ、信頼性も高められるでしょう。

所長 七田伸也



所長ひとこと

